事業所名

ぱびるすぱんび

支援プログラム

作成日

令和7

3月

31日

法人（事業所）理念	「笑顔で帰って笑顔でまた来る」そんな居場所でありたいとひとり一人の子供と向き合っています。お子様の「苦手」を「できる」に。保護者様の「心配」を「安心」に。ひとつの課題をクリアする度毎に、自信が自己肯定感へとつながるように寄り添っています。					
支援方針	特性から学校やご家庭で注意を受けることも多くなります。次第に子供たちは『僕・私はダメな子なんだ』と自信を失い『無理・めんどくさい』と自身の可能性を制限してしまいがちになります。まずは安心して楽しく過ごせる環境を整え、楽しみの中から『やればできるんだ!』『僕・私ってすごい!』を感じてもらえる課題の提供や活動の見守り支援を行っています。					
営業時間	10時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり○ なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の検温・手洗い等を行い、顔色や健康状態・その日の気持ちの状態などを把握しています。 ・登所時事前にタイムスケジュールやルールを伝えることで、そのことを意識して活動してくれています。 ・登所時だけでなく体調不良等の変化はないか観察しながら関わらせていただいています。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルタリングやトランポリンなどの遊具での運動面、鉛筆・お箸・はさみなどの微細運動面を取り入れながら活動内容を考慮しています。 ・空間認知行動療法（音楽や机上課題など）を取り入れた課題の提供を行っています。 ・色彩感覚などの絵を通した心の動きにも注視して関わらせていただいています。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・登所時事前にタイムスケジュールを一緒に決めたり、遊びや集団活動の際もルールを伝えることで意識して活動してくれています。 ・出したものや一緒に使用したものなど元の場所に片付ける。それらの活動のルールも意識してもらえるように事前に伝えています。 				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・『自分の思いは泣かずに怒らずにゆっくりと言葉で伝える。』を伝え続けることでそのことをみんなが意識してくれるようになっていきます。 ・困っている時には『手伝って』やさしくしてもらった際には『ありがとう』などの親和的言葉の大切さを伝えています。 ・「ことばカード」を使った発語の練習やSSTの課題にも取り組んでもらっています。 				
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会。子供にも大人にも生活の中にルールがあることを伝えながら、ルールの大切さを伝え続けています。 ・距離感を保ちながらすぐに声を掛けるのではなく、すぐに援助の手を差し伸べるのではなく必要なタイミングと短い言葉で本人の気づきにつながるよう支援しています。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・HUG（保護者間情報共有サイト）を用いて情報共有につとめています。 ・お困りごとなど日頃から気軽にお声掛けいただけるよう、信頼関係の築きにつとめています。 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や他事業所・専門機関との情報共有を大切にしています。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川花火大会の日には当所屋上をご家族や地域の方に開放し、一緒に花火観賞を行うなどしています。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に内部研修を実施します。 ・児童の関わりや療育面で疑問などある際は、お互いに言葉にして伝え合いながら療育の向上に努めています。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り・避難訓練・お誕生日会・ハロウィンパーティー・クリスマス会など。 					